

## 糸魚川市駅北大火被災者・関係者説明会 議事録

日 時	平成 30 年 11 月 26 日（月）19：00～19：45		場 所	ヒスイ王国館 2 階ホール
件 名	(1) 被災者の再建状況について (2) 各種支援制度の実施見通しについて (3) 駅北地区におけるにぎわいの創出について ・復興まちづくり市民会議における検討状況について ・にぎわいづくりの展開について ・にぎわい創出広場の整備について (4) その他 ・ブロック別意見交換会の開催 ・駅北大火 2 年事業の開催			
出席者	糸魚川市	米田市長、木村副市長、見辺産業部長、山本市民部長、斉藤復興推進課長、渡辺企画定住課長、五十嵐建設課長、大嶋商工観光課長、横澤健康増進課長、小林市民課長、川合福祉事務所長、他担当係長		
	被災者関係者	13 世帯 15 人（被災者関係者以外の一般参加者 6 人）		
	報 道	3 社（産経新聞新潟支社、毎日新聞、新潟日報）		
<b>会 議 要 旨</b>				
開 会 あいさつ (米田市長)	<p>被災者・関係者説明会の開催にあたり、一言あいさつをさせていただきます。</p> <p>あと 1 か月ほどで大火から 2 年を迎えようとしています。大火発生以降、被災された皆さまの一日も早い再建に向けて、皆さまと一緒に取組を進めて参りました。</p> <p>道路拡幅や防火水槽の整備も概ね完了に近づいているほか、被災地内で再建を希望される住宅や店舗の多くもほぼ立ち揃ってきております。</p> <p>このように短い期間のなかで、目に見えて復興が進んでいることを実感できるのも皆さまのご理解とご協力の賜物であり、改めまして感謝を申し上げます。</p> <p>これからの復興まちづくりにおいては、当面の復旧・復興の局面から、にぎわいの創出や高齢化、居住人口の確保といった難しい課題への取組に局面が移って参ります。</p> <p>にぎわいづくりについては、新しいところに作るよりも、今まであってそれがなくなったところに作り出す方が難しいわけであり、例えば食料品店なども身近なところにあったわけですが、それがなくなり、今多くの要望が出ていますが、なかなか難しい部分があると感じています。</p> <p>このことから、これまで以上に皆さまとの連携を深め、みんなのまちは、みんな育てるという「まち育」の志を持って取り組んでいくことが大切だと考えております。</p> <p>本説明会の開催について年内は、本日が最後の予定にしております。</p> <p>住み慣れた場所で、また新しいお宅で、年越しと新年を迎える方も多くいらっしゃるかと存じます。まずは、ごゆっくりとお過ごしいただき、大火から 2 年のご苦勞を癒していただくとともに、来たるべき新年が、被災前よりも住みやすく、そして訪れたいくなるようなまちづくりに向けた弾みの年となりますよう引き続き皆さまと一緒に取組んでいくことをお約束申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日は、よろしくお願いいたします。</p>			

議題（１）	（１）被災者の再建状況について
議題（２）	（２）各種支援制度の実施見通しについて 一括説明：齊藤復興推進課長
	【質疑なし】
議題（３）	（３）駅北地区におけるにぎわいの創出について 説明：齊藤復興推進課長
	【質疑】 （男性１）
	にぎわい創出広場の図面の「案」というのが消えている。もうこれで行くぞという形での発表と捉えてよろしいでしょうか。
	（齊藤復興推進課長）
	まだ詳細は固まりきっている訳ではありませんが、図面の規模ぐらいの内容については、こうした形で行きたいと考えています。
	（男性１）
	ぱっと見たところで前回から若干変更も入っているようですが、単純に心配しているのはオープンスペースです。いつもずっとオープンな状態だと寂しいのかなと。２階部分に事務スペースがあり、常時人がいてそこから見える形になっているかと思うのですが、キッチンスペースしかり、オープンスペースしかり、人がいないとただの空き家になってしまうので、人の動きが見えるような流れで管理される方と話を進めていただきたい。
	広場のみならず拠点施設の方も含めて子育て世代をメインでという話がある。それをきっかけに作るのかもしれませんが、それに市の政策もプラスアルファをしていただいて、いろいろなところから子育て世代の方がそこに住みたいと最終的にはそこまで見据えていただけたらうれしく感じます。
	この場所に住んでいて、なかなかこういう所でしか話をすることができませんが、皆さんの話をしっかり聞いて頂いて、年齢層の高い方たちとこれから入ってくる若い人たちが、しっかりと調和のとれたなかで進めていただければと思います。
	（齊藤復興推進課長）
	広場の建物については、いろんな使い方ができるという意味でのオープンスペースであります。活用イメージとしては、昼には地域の皆さんが集まってお茶を飲みながら交流できるとか、そのお茶を提供するのがキッチンの方のチャレンジャーだったりというようなふうに常に使っていただける環境になっていけたらよいと思っています。年に何回かは大きなイベントを行うなどして、周辺に波及効果が生まれるようなものにも使っていただきたい。
	拠点の方についても市内の子育てを一生懸命やっている皆さんが一つの場所に来ると色々なサービスを受けられるというような形で、できるだけそういう方がここに集まり、そこからまちに出て行くようなイメージで広場も拠点も考えていきたいと思っております。

議題（４）  閉会	（４）その他 【質疑なし】
-----------------	------------------